

令和7年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	15	議席 番号	9	氏名	稲 葉 晃 司 議員	1 / 2
発 言 項 目		要 旨				答 弁 者
1	富士宮市の農業政策について何う～SAY農の掛け声とともに～	(1) 地域計画の策定の過程で行われた地域農業の将来構想に関する話合いの結果について、富士宮市のホームページに掲載されている。市内を10地域に分けて話合いが行われ、富士宮市内の農業の現状が把握されたことと思われる。そこで以下の点について何う。 ① 各地域の話合いの中で見えてきたものは何か。厳しい現状の中にも良い情報などはあったのか。これらの結果から市が行うことの優先順位はどのように位置づけられ、何から取り組んでいくのか。 ② 地域計画区域内における担い手を担う者とされているが、現状として10地域における担う者は351人、その内訳として認定農業者200人、新規就農者24人、利用者127人とのことである。この数字は5年後、10年後どのように推移していくと市当局は分析しているのか。 ③ 各地域の話合いの中で市、J Aふじ伊豆及び県が連携し担い手の外部からの招聘と育成に取り組むといった表現が多くみられたが、今後それらの連携はどのようにして展開され、担い手不足の解消に結び付けていくのか。 ④ 各地域の話合いの中で地域の実情に応じて取組方針を記載してくださいとあり、①鳥獣被害防止対策、②有機・減農薬・減肥料、③スマート農業、④輸出、⑤果樹等、⑥燃料・資源作物等、⑦保全・管理等、⑧農業用施設、⑨その他の項目の内、①と②に印をつけた地域が多くみられたことと、スマート農業に2地域が印をつけていた。 これらの状況を踏まえて市はどのように取り組んでいくのか。併せて年間240万円の鳥獣被害防止対策の予算と令和7年度から始まったスマート農業の補助金160万円の予算の執行状況と今後の予算に対する考えについて何う。 (2) J Aふじ伊豆青壮年部の役員会の中で、農業に関する意見交換会を行った際に出た意見から、以下何う。 ① 農業はある意味、公共事業と同じ役割をしているのではという考えがあり、水田の水の貯留と流出の抑制効果や農地が持つ水質浄化作用などを金額にしたらいくらになるのかといったものであった。その中で、市として専業農家に対する固定資産税の減免はできないのかといった意見があった。高騰する物価等の影響は農家にも大きく影響していることは言うまでもなく、もしそれが可能ならば減免された分を投資して、収益を増やした分を税金で納めるといった考えであった。この考え方は今後の富士宮の農業を守っていく上で考えなければならないことと思われるが、市当局の見解を何う。 ② 富士宮市で統一したブランド力のある農作物の生産を推進していく考えなどはあるのか。				市長 副市長 教育長 関係部長

令和7年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	15	議席 番号	9	氏名	稲葉晃司 議員	2/2
発言項目				要 旨		答弁者
2 富士宮市の小学校の卒業式における袴の着装について伺う				③ 鳥獣被害防止の予算において、春に収穫されるものと秋に収穫されるものがあるが、予算を2期に分けることは可能か。 近年、小学校の卒業式における袴の着装が目立ってきた。和装は日本の文化であることは言うまでもなく、袴の着装を否定するものではない。しかし、誰しもが卒業式において袴をレンタルして着装することができるのか、市の考えを伺いたい。 (1) 現場の教職員はよく理解されていることと思うが、望月教育長は小学生の卒業式における袴の着装をどのように考えているのか。 (2) 袴の着装の判断は現場の学校長に任せるのか。それとも、富士市のように自粛を要請していく考えなのか。令和7年度の富士宮市立小学校の卒業式はどのようなになるのか伺う。		市長 副市長 教育長 関係部長